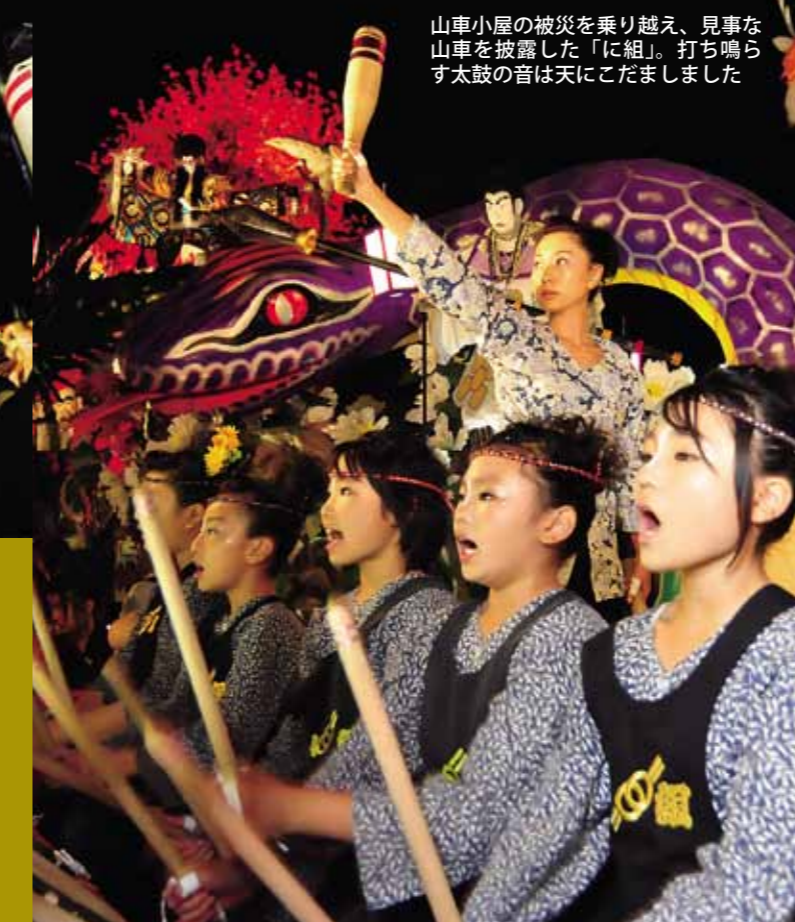


久慈秋まつり

底力



山車小屋の被災を乗り越え、見事な山車を披露した「に組」。打ち鳴らす太鼓の音は天にこだしました



もっと元気と盛り上げを。まちと観客を大いに沸かせたみこし組



大人も子どもも、みんな一緒になって、まちを盛り上げました



大きな被害を受けた久慈湊地区の子どもたちも参加。たくましい姿を見せました

中日の郷土芸能大パレードでは流し踊りや太鼓の音色が、まちを彩りました

復興への祈りを込め、「三陸に元気を！」をテーマに製作された8台の勇壮な山車。威勢のいい掛け声とともに、まちを練り歩いたみこし組。流し踊りや太鼓の音色でまちを彩った郷土芸能大パレード。関係する全ての人が情熱にあふれ、生き生きとした表情で、まちを盛り上げました。

山車小屋が被災した「に組」、震災で大きな被害を受けた久慈湊地区のみこし組「湊玉心会」も参加。たくましさや印象づけ、見る人に勇気と感動を与えました。

17日の中日と、18日のお還りは雨にもかかわらず、最後まで盛り上がり続けた秋まつりは圧巻。そこから感じられたのは、震災にも屈しない久慈の底力でした。

沿岸部を中心に、甚大な被害を及ぼした東日本大震災。まちも人も、苦しく大変なときだからこそ、まつり衆は立ち上がりました。

久慈秋まつりは9月15日から18日までの4日間、中心市街地で開催。震災直後は開催が中止かで揺らぎましたが、まちを盛り上げ、元気を与えるために、最終的に開催が決定しました。

見事な山車が勢ぞろいした前夜祭。夜空に映える山車の美しさに、まつり関係者も観客も歓喜しました

圧巻

